

2015 サッカー指導者講習会（全日本高等学校女子サッカー選手権大会）報告

実施日 2016年1月6日（水）18時～20時

実施場所 神戸市立西区民センター（西神中央）

受講者 28名

講師 和田 敬 ナショナルトレセンコーチ（女子チーフ・中国担当）

景山 啓自 ナショナルトレセンコーチ（四国担当）

西入 俊浩 ナショナルトレセンコーチ（女子GK）

女子のTSGについて活動と、2015カナダ女子ワールドカップ、選手権2回戦までの分析を報告していただきました。



女子ワールドカップ（カナダ大会）分析

大会の特徴

「テクニカルに、スピーディーに、コレクティブに、そしてタフに」

世界のサッカーの目指す方向に男女差はない！！

◇日本の戦い

特徴

- ・統一感のある戦い
- ・For the Team の精神
- ・GKを含めたDFラインからの組み立て
- ・テクニックと関わりのある攻撃

課題

- ・強いプレッシャーの中でのテクニック
- ・ゲームの流れに応じたゲーム運び
- ・守備から攻撃への切り替え
- ・個の育成の重要性

全日本高等学校女子サッカー選手権大会2回戦までを振り返って

- ・地区大会1位をシードとしているため、1回戦から好カードとなった。昨年度優勝校 VS 準優勝校

守備の成果

- ・粘り強い対応
- ・狙いのある守備・予測
- ・クロス守備
- ・連動した守備

守備の課題 ※日常の取り組み・ゲーム環境の重要性

- ・状況に応じた正しいポジション理解の徹底
- ・1 VS 1 の対応
- ・クロス守備

攻撃の成果

- ・ピッチ全体を使った組み立て
- ・アイデアを持った仕掛け
- ・ミドルシュートの意識と質
- ・アイデアのあるセットプレー

攻撃の課題

- ・テクニックの質
- ・クロス守備の質

GKの成果

- ・攻撃への関わり
- ・ボールを奪う意識が高い

GKの課題

- ・基本技術の発揮
- ・有効な攻撃となる配球

状況に応じて、「飛ばす、受ける、運ぶ、奪う」できる良い選手を増やす。

（サッカーの目的に即した実践的なプレーができる選手）